

事務事業名		中小企業振興事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	05:5:豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目				
	施策名	2:1:活気あふれる商業の振興					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	0:1:元気な商店街づくり			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和61 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入		01	07	01	02	01
根拠法令		大船渡市中小企業振興事業補助金交付要綱、大船渡市補助									
所 属	部課名	商工観光部商工観光物産課			☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入		01	07	01	02	01
	係 名	商工係									
	電話 内線	0192-27-3111 112									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 中小企業の振興を図るため中小企業者で組織している団体等が共同で異業種交流、新商品開発促進事業、販売促進事業、人材養成促進事業、商店街づくり事業のいずれかの事業を実施する場合、対象経費の1/2以内で補助金を交付する。 主な業務は、団体からの事業計画書提出、計画書の審査、補助金額の内示、団体による事業実施、現地確認、補助金請求書、事業実績書の提出、精査、支払。事業費は、対象事業への補助金として支出される。					全体計画(期間限定複数年度のみ)						
					総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金			
								都道府県支出金			
								地方債			
								その他			
								一般財源			
								事業費計 (A)			0
					人件費	正規職員従事人数					
						延べ業務時間					
						人件費計 (B)			0		
						トータルコスト(A) + (B)			0		

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標																															
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ○販売促進事業ほか(申請団体14団体) ○事業費総額7,508,827円(補助金交付団体13団体) ○補助額2,690,000円 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 実施希望団体の募集(広報・新聞掲載後～5月中旬)、事業別計画書の提出を受けて、補助金額の内示(6月)、計画の細部の見直しを促した後、補助金申請書受付。(予算額3,000,000円)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">名称</th> <th style="text-align: center;">単位</th> </tr> <tr> <td>ア 制度案内通知発送団体数</td> <td style="text-align: center;">団体</td> </tr> <tr> <td>イ 事業計画書受理件数</td> <td style="text-align: center;">件</td> </tr> <tr> <td>ウ 補助金交付件数</td> <td style="text-align: center;">件</td> </tr> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">名称</th> <th style="text-align: center;">単位</th> </tr> <tr> <td>カ 事業計画書を提出した市内中小企業で組織しているグループなど</td> <td style="text-align: center;">団体</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">名称</th> <th style="text-align: center;">単位</th> </tr> <tr> <td>サ 期待した成果があった事業の割合</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		名称	単位	ア 制度案内通知発送団体数	団体	イ 事業計画書受理件数	件	ウ 補助金交付件数	件	対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	カ 事業計画書を提出した市内中小企業で組織しているグループなど	団体	キ		ク		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	サ 期待した成果があった事業の割合	%	シ		ス	
活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																															
名称	単位																														
ア 制度案内通知発送団体数	団体																														
イ 事業計画書受理件数	件																														
ウ 補助金交付件数	件																														
対象指標(対象の大きさを表す指標)																															
名称	単位																														
カ 事業計画書を提出した市内中小企業で組織しているグループなど	団体																														
キ																															
ク																															
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																															
名称	単位																														
サ 期待した成果があった事業の割合	%																														
シ																															
ス																															
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市内中小企業者で組織している団体やグループなど																															
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ○販売意欲の向上を図る。 ○事業を円滑に進めることができる。																															
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 商店街が賑わっている。																															

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	
投入量	事業費	財源内訳	単位	千 円						
			国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	2,493	2,077	2,918	2,715	2,864	2,690
	事業費計 (A)			千 円	2,493	2,077	2,918	2,715	2,864	2,690
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	60	60	55	55	55	55	
		人件費計 (B)	千 円	240	240	220	220	220	220	
トータルコスト(A) + (B)		千 円	2,733	2,317	3,138	2,935	3,084	2,910		
活動指標			ア	団体	16	17	17	22	22	17
			イ	件	13	7	8	8	11	14
			ウ	件	11	7	8	8	11	13
対象指標			カ	団体	13	7	8	8	11	13
			キ							
			ク							
成果指標			サ	%	100	100	100	100	100	100
			シ							
			ス							

事務事業ID	0376	事務事業名	中小企業振興事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

景気の低迷により個人消費が伸び悩み、個店では消費者の様々なニーズに応えるべく努力はしていたものの、各店独自の大きな事業には手をつけられない状況であった。そのため、市内中小企業団体や商工業界の活性化を図る目的に中小企業振興事業を令和6年度に新設した。大船渡地方振興局が設けている地域活性化調整費の市版である。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

中小企業における個々の経営は、ますます厳しい状況であり、連携して事業に取り組むのにも実施主体の負担金を出すのもやっとという状況にある。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

市議会議員より補助率について事業費の1/2としているが、申請事業団体の負担を軽減するためにも補助率をあげて欲しいとの要望があった。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 中小企業同士が共同で取り組むことにより、一時的にでも活気に結びついているものとする。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 1 中小企業では難しい事業も、連携して取り組むところにより、実施可能となり、企業に活気が生まれ、その活気によりまちが活性化される。市内の商店街の活性化を図るためにも必要である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象は、協同組合等の団体であり、絞込みが来ている。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 一部では、積極性が見られない行政頼みの姿勢も見受けられる。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 市の助成割合は決して高くないが、廃止すれば事業実施主体の負担が大きくなり、結果として賑わいを創出する事業の実施が困難となる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 平成16年度に、企画調整課所管の「活力創生2億円事業」に統合されたが、実施団体からも申請しにくいという声もあり、結局元に戻った。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 今年度においては、予算額のとおり補助金申請があったため事業費等の削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 申請前事業説明会を省略し、広報・新聞掲載・利用団体への資料送付・中央公民館等への資料配布を行った。申請団体数については、前年度より3団体増加した。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 現状では、事業実施者の負担はかなりのある。

事務事業ID	0376	事務事業名	中小企業振興事業
--------	------	-------	----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 申請する団体がほぼ固定化してきている。できるだけ新しい団体に申請してもらえよう進め方を検討したい。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 事業の成果をさらにあげていくためには、現在の補助率の1/2までは補助できるよう予算の拡大をする必要がある。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上			●																			
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 申請団体が毎年同じような事業を申請する傾向にあり、マンネリ化しつつある。郊外の大型店に負けない店づくり、商品づくりをしていくためには、より消費者のニーズに沿った品揃えをしていくなど、常に消費者の立場に立った経営手法が必要になってくる。																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者

商工観光物産課長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 事業の意図等を的確に把握しており、適切な評価となっている。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 事業内容がマンネリ化している団体については、適切な指導を行なう。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 政策推進会議等での指摘事項
